

| | |
|--|---|
| ストレプトマイシン液剤 ヒトマイシン液剤 S | 取扱メーカー： 日農，琉産 原体メーカー： Meiji |
| 成分： ストレプトマイシン硫酸塩〔抗生物質〕……………6.25% （ストレプトマイシンとして……………5.0%） | 性状： 暗褐色澄明水溶性液体 毒性： 普通物 消防法： —— |

【品目特性】……………

- 野菜，たばこの細菌性病害に有効な，農業用抗生物質である。
- 植物体内への吸収が早く，風雨による流亡が少ないので効果が安定している。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 病斑の早期発見に努め，たばこ野火病などは病斑の少ない時期に罹病葉を切り取った後，全葉に散布する。
- 治療よりも予防効果の高い薬剤なので発病のおそれがある時には予防的に散布する。特に降雨前の散布が有効である。
- たばこの芯止め，わき芽取りなどの作業を行うと，その傷口から立枯病菌や空洞病菌が侵入し発病を助長することが多いので，用具や切り口を本剤で消毒する。

- たばこの角斑病に対しては，発生初期に時期を失ないように散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 黄白色の斑点が散布した葉に現れるが，1週間位で消失する。なるべく高温時の使用はさける。特にはくさいでは幼苗期及び高温時の使用はさける。
- 強アルカリ性農薬との混用はさける。
- 連続使用によって薬剤耐性菌が出現し効果が劣るので，過度の連用をさけ，作用性の異なる薬剤と組み合わせて，輪番で使用する。

【安全対策上の注意】……………

- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】……………

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数 | 使用時期 (収穫前) | 本剤の 使用回数 | 使用 方法 | ストレプトマイシンを 含む農薬の総使用回数 |
|-------|------------|----------|---------------|-------------|----------|----------------------------|
| もも | せん孔細菌病 | 250～500倍 | 60日前まで | 2回以内 | 散布 | 2回以内 |
| はくさい | 軟腐病 | | 14日前まで | 3回以内 | | 3回以内 |
| こんにゃく | 葉枯病 腐敗病 | | 30日前まで | 6回以内 | | 6回以内 (種いもへの処理は 1回以内) |
| ばれいしょ | 疫病 | 250倍 | 7日前まで | 5回以内 | | 5回以内 (種いもへの処理は 1回以内) |
| たばこ | 野火病 立枯病 | 250～500倍 | — | — | | — |
| | 空洞病 | 200～300倍 | | | | |
| | 角斑病 | 400倍 | | | | |